

一般社団法人

安芸太田町自伐型 林業を推進する会

自伐型林業で太田川源流域の森を守り
いのちを未来へつなぐ

道づくり

作業道を入れ
基盤を整える



活かす

木材を資源として
活かす



育てる

残した木を育て
森を回復させる



間伐

成長の範囲内で
繰り返し間伐



100年先も、森と地域が続いていくために。



いのちを育む環境を未来へつなぐ

私たちのまち、広島県安芸太田町。
太田川の源流域に位置するこの町は、
面積の約9割を森林が占めています。

森林は、水や土を守り、
多くの植物や生きものを育み、
私たちの暮らしを支えています。

一般社団法人安芸太田町自伐型林業を
推進する会は、「いのちを育む環境を
未来へつなぐ」という理念のもと、
地域の森林を地域で守り、育て、活かす
自伐型林業の実践と普及に取り組んでいます。



太田川の源流域の森を
次の世代へ

私たちが大切にすること

① 森を育てる

長伐期多間伐による森林整備

一度に伐りすぎず、良い木を残し
ながら繰り返し間伐します。
木材を利用しながら、次世代へ
引き継げる健全な森を育てます。



② 道で守る

壊れない作業道づくり

地形に沿った小さな作業道を整備し、
山を大きく削らず、水の流れを
読み、長期間繰り返し使える
「森のインフラ」をつくります。



③ 地域とつながる

担い手育成と地域連携

研修や施業地見学会などを通じて、
森林に関わる人を地域に増やし、
地域で森を守り続けられる
仕組みをつくります。





01 森林整備・森林管理

山林所有者と相談しながら、森林の状態や地形を確認し、長期的な視点で森林整備を進めます。一度に多くの木を伐るのではなく、木の成長を見ながら間伐を繰り返し、残した木を育てます。林内へ光を入れ、下層植生や広葉樹の回復を促しながら、多様で健全な森林を目指します。



02 壊れない作業道づくり

森林を継続的に管理するためには、繰り返し使える作業道が欠かせません。

私たちは、小型バックホーを使い、

- 地形に沿ったルート選定
- 必要最小限の切土・盛土
- 幅約2.5mの小規模な道
- 水を集めない排水
- 丁寧な転圧

などを基本として、山への負担を抑えた作業道づくりに取り組んでいます。作業道は木を運び出すだけの道ではなく、何十年も森林を管理していくための「森のインフラ」です。



03 研修・担い手育成

森林を守り続けるには、技術だけでなく、それを受け継ぐ人が必要です。安芸太田町で自伐型林業に取り組む人材を育てるため、以下の研修を実施します。

- チェーンソー取扱特別教育
- 作業道開設研修
- 伐倒・造材・搬出研修
- 施業地見学会



令和8年度 安芸太田町「自伐型林業普及促進業務」を受託

研修による担い手育成と施業地確保を通じて、地域主体で自伐型林業を継続していく仕組みづくりに取り組んでいます。

04 山の木を地域で活かす

作業道開設や森林整備の過程で生まれた木を、できるだけ無駄にしないことも大切にしています。樹種や材の状態に応じて、製材、ホダ木、炭、薪、小物など、さまざまな形で活用します。



コナラの製材(板材)

良質な広葉樹を製材し、板材として活用します。



コナラのホダ木

シタケのホダ木として利用します。



コナラ・ヤマザクラの炭焼き

薪や炭として、地域のエネルギーに活用します。

広葉樹のコースター

小さな材も暮らしの道具として活かします。



山林をお持ちの方へ

- ☐ 山を持っているけれど、どう管理したらいいかわからない
- ☐ 長年手を入れていない山がある
- ☐ 山の木を活かしたい
- ☐ 自分の山を次の世代へ良い状態で残したい

私たちは、山林所有者の皆さんと一緒に山を見ながら、これからの森林管理を考えていきます。

まずは、お気軽にご相談ください。



森づくりに参加しませんか？

自伐型林業に興味のある方、林業を学んでみたい方、山林を所有されている方。施業地見学や研修など、さまざまな形で森づくりに参加できます。



一般社団法人
安芸太田町自伐型林業を推進する会
理念 | いのちを育む環境を未来へつなぐ

所在地：広島県山県郡安芸太田町加計4939

E-mail: info@akiota-ssf.com

設立：2026年2月

活動・技術解説・研修情報は
こちらのホームページへ
<https://akiota-ssf.com>

